

竹早だより

平成27年度10月号
平成27年10月19日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

平成28年度入学生の学級増決定！

校長 高田 純一

10月8日（木）東京都教育委員会定例会において、平成28年度都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について決定が行われました。竹早高校は、6から7学級への学級増となることが決定しました。

定員が増え、門戸が広がることは、本校を目指す中学3年生にとって大変な朗報です。このことを皆さんの弟・妹、親戚・知人などにも積極的に知らせて、竹早高校の受験を勧めてほしいと思います。どうぞよろしくお願いします。

竹早高校学級数推移（最近7年間）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1学年	7	6	6	7	6	6	7
2学年	6	7	6	6	7	6	6
3学年	6	6	7	6	6	7	6
全校	19	19	19	19	19	19	19

11月模擬試験に向けて

11月模試が半月後に迫ってきました。どの学年にとっても極めて重要な一里塚です。万全の準備をして臨んでほしいと思います。学年別にポイントを確認します。

<1年生>

前回、国語と英語について、近年まれに見る好成績をたたき出しました。この調子を維持するとともに、数学の総復習に力を注ぎましょう。

<2年生>

前回、数学は入学時の成績を上回りました。多くの都立高校の偏差値が下がる中で、本校だけ「重力のない世界」にいるのかと思うほどの成績でした。この調子を維持するとともに、国語（特に古典）と英語の総復習をして模試に臨みましょう。

<3年生>

センター試験まで3か月を切り、苦しい時期に入ってきましたが、「あきらめない」「志望を下げない」「E判定に負けない」という鉄則を守って合格に突き進みましょう。模試は手近な目標であり、解けなかった問題は貴重な教材です。健闘を祈ります。

文理選択に向けて

2年生は自由選択に向けて、1年生は文理選択に向けて山場を迎えようとしています。ここでは、1年生対象に文理選択の話をしますが、他学年の人も参考にしてください。文理選択の注意として「数学が苦手だから文系」「古典がきらいだから理系」といった短絡的な選び方をしてはいけないと言われます。そんなことは重々承知だと思いますが、確認しておきます。その上で、①将来の職業や資格から決める、②得意なものや興味のあることから選ぶ、といった方法があります。詳しくは学年や進路の先生方から様々な情報提供がありますので、じっくり考え、相談しながら最後は自分で決めましょう。

さて、ここでは「文転」ということに絞って話をします。

「文転」とは、一度理系を選んだ人が、文系に変更することを言います。現1年生の入学時にも説明したように、本校では「文転」可能なカリキュラムになっています。

極論すると「文転はいつでも可能であるが、理転は極めて困難である。」となります。「いつでも」というのは、高3になる時だけでなく人生の「いつでも」ということです。一つは大学卒業の時点で、理工系の学部から文系の大学院に進むという場合があります。また、理工系学部から「文系就職」をする人もいますが、文系学部から「理系就職」をすることは困難です。「医学部を出て小説家になることはできるが、文学部を出て医師になることは不可能である。」ということを考えればすぐにわかるでしょう。

以上のことから、どうしても文理選択に迷った場合、一まず理系を選んでおくという方法が考えられます。もし、皆さんの心のどこかに「理系に行きたい」という「炎」が小さく灯っているなら、燃え上がるかどうか、1年間様子を見てはいかがでしょうか。少なくとも、今消してしまったら、再点火することはかなり困難だからです。

実は、かく言う私自身も「文転」経験者です。高3になる時、突然文転宣言しました。親や先生を説得するために「理系は答えが一つだが、文系は答えが多様で面白い。」という理屈をひねり出し、その一点張りで押し通しました。要するに、説明できるような理由が自分の中になかったのです。今のようにキャリア教育が丁寧に行われる時代なら違った結果になっていたかも知れません。高3になると、先生の配慮で、数皿の時間にたった一人自分の机といすを持って文系クラスに移動し、日本史の授業を受けさせてもらいました。私は人と違ったことをするのが大好きでしたから、この時の面はゆいような気分は今でも覚えています。文系でも数学が得意だったので、受験に有利でした。

10月・11月の主な行事予定

〈10月〉

20（火）中間考査始

23（金）中間考査終



〈11月〉

3（火）文化の日

4（水）模擬試験

7（土）保護者会（1・2）

14（土）第2回オープンデー

16（月）国際理解講演会（1・2）

23（月）勤労感謝の日